

平成 24 年度第 1 回 NAT 小委員会 概要

(日時) 平成 24 年 5 月 16 日 (水) 15:00~17:00

(場所) 厚生労働省 22 階 専用第 14 会議室

(概要)

○HEV 国内標準品について

- ・国立感染症研究所が作製したものを国内標準品として承認。
- ・配布方法については、国立感染症研究所で確認した上で、事務局に通知。その結果を各委員及び参考人に報告し、公開の手続きとする方針。(標準品とされると国立感染症研究所製品交付規程に基づき、有料<約 2 万円>配布となる)

○パルボ国内標準品について

- ・国立感染症研究所において標準品の作製方針案を説明。協議の結果、陽性血漿の性状・希釈用血漿の性状・B19 の genotype・力価と測定方法の方向性が決定。

○genotype パネルについて

<HBV, HCV, HIV パネル>

- ・厚生科学研究(吉澤班)での成果を有効活用する方針が了承された。その際、座長がパネルの候補を提案し、委員から意見聴取することとなった。
- ・HIV については、どの genotype が望ましいか感染研で検討することに決定。
- ・HBV については、ABC Fが入っているのが望ましいということに決定。(脇田委員から改めて意見聴取する方針)
- ・稀な genotype については、今後も継続した取組が必要。日赤の協力が不可欠との指摘があり、日赤は前向きに検討するとのコメント。

<HEV パネル>

- ・厚生労働科学研究での成果を有効活用する方針となった。(配布可能セットは 400 セット)

<パルボパネル>

- ・現在、研究班で検討中。